

# 環境経営レポート

2023年度

運用期間 2023年6月～2024年5月



Fuchu Giken Inc.

株式会社府中技研

発行日 2024年6月12日

## 内容

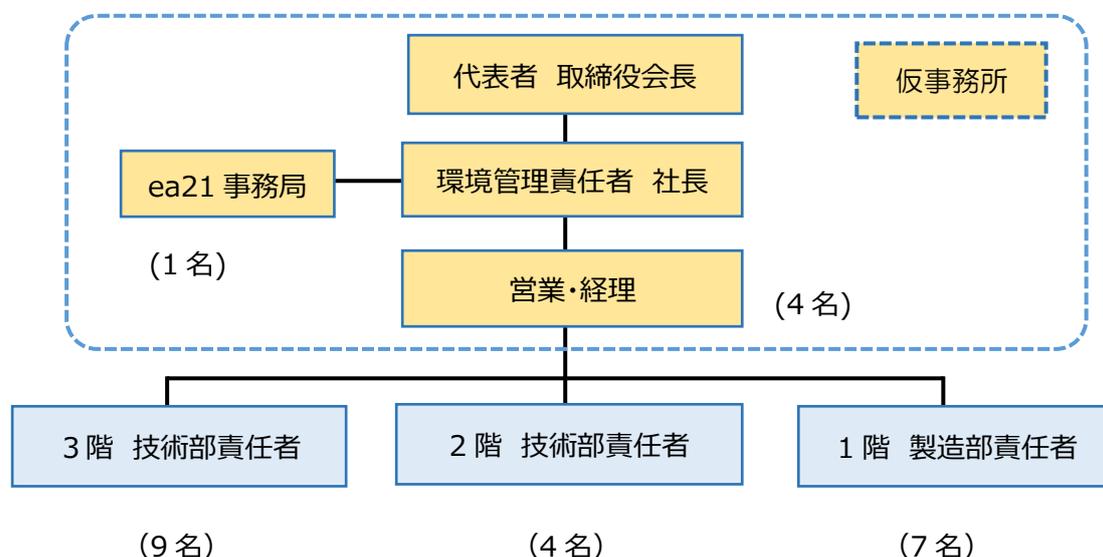
1. 組織の概要 .....	3
2. 認証に係る対象範囲 .....	4
3. 環境経営方針 .....	5
4. 環境経営目標 .....	6
5. 環境経営計画 .....	7
6. 環境経営計画に基づき実施した取り組み内容 .....	8
7-1. 環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組結果とその評価 .....	9
7-2. 次年度基本環境経営計画 .....	14
8. 環境関連法規制等の順守状況の確認及び評価の結果、違反訴訟などの有無 .....	15
9. 全体の評価と見直し .....	16

## 1. 組織の概要

- (1) 事業所名及び代表者氏名
  - 株式会社府中技研
  - 代表取締役会長 波多野和明
  
- (2) 所在地および認証・登録範囲
  - 本社事業所 東京都府中市南町五丁目38番地33
  - 対象範囲 上記住所の全組織（仮事務所除く）
  
- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
  - 環境管理責任者 取締役社長：乙津 昇
  - 連絡先：電話 042-366-3544 F A X 042-334-4948
  - 事務局・連絡担当者： 営業部：望月 秀敏
  - 連絡先：電話 042-366-3544 F A X 042-334-4948
  
- (4) 事業活動の内容
  - 医療用分析機器、放送局向け機器および産業用遠隔制御装置などの設計・製造
  
- (5) 会社設立経緯
  - 操業開始 1973年6月11日
  - 会社設立 同 上
  
- (6) 事業の規模
  - 売上高……24,500万円（2023年度：52期）
  - 従業員数……25名
  - 延床面積……434㎡
  - 資本金……3,000万円
  - 創 立……1973年
  - 車両等……2台

## 2. 認証に係る対象範囲

### □ EA21 実施体制



### (2) 役割・責任・権限表

対象	役割・責任・権限
代表者	<ul style="list-style-type: none"> <li>取組の対象組織・活動の明確化 (要求事項 1)</li> <li>代表者による経営における課題とチャンスの明確化 (要求事項 2)</li> <li>環境経営方針の策定、全従業員に周知 (要求事項 3)</li> <li>実施体制の構築 (要求事項 7)</li> <li>代表者による全体の評価と見直し・指示 (要求事項 14)</li> <li>働きやすい環境の整備と創生</li> <li>環境経営レポートの承認</li> </ul>
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営目標及び環境経営計画の策定 (要求事項 6)</li> <li>環境コミュニケーションの実施 (要求事項 9)</li> <li>取組状況の確認・評価、並びに問題の是正及び予防 (要求事項 13)</li> </ul>
EA21 事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境負荷と環境への取組状況の把握及び評価 (要求事項 4)</li> <li>環境関連法規の取りまとめ (要求事項 5)</li> <li>文書類の作成・管理 (要求事項 12)</li> <li>EA21 活動に関する事務</li> </ul>
部門管理者	<ul style="list-style-type: none"> <li>教育・訓練の実施 (要求事項 8)</li> <li>実施及び運用 (要求事項 10)</li> <li>環境上の緊急事態への準備及び対応 (要求事項 11)</li> </ul>
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営方針、環境経営目標、環境経営活動計画を理解し実施する</li> <li>環境経営目標、環境経営計画の達成と実績の把握を行う</li> <li>法規制を理解し遵守する</li> <li>EA21 活動に関する提案</li> </ul>

### 3. 環境経営方針

#### <企業理念>

経営基本理念である「創造のよろこび」「社会の役に立つよろこび」「生活向上のよろこび」を追求するにあたり、府中市企業市民として、郷土の自然や環境を守り、ひいては地球全体の環境保全に積極的に取り組むことにより、環境負荷が最小になるよう努める。

#### <環境経営方針>

企業理念に基づき、製造業として、環境負荷の少ない事業活動、環境に配慮した製品提供、PDCA サイクルを基本とした継続的な環境改善活動に積極的に取り組み、自らが設定した以下の分野に従って全従業員により積極的に取り組みます。

- (1) 事業活動に適用される法規制等を遵守します
- (2) 事業活動、製品及びサービスの環境負荷低減に努めます
- (3) 持続可能な企業とするため、蓄積してきた技術の継承・発展に努めます
- (4) 働きやすい環境の整備と創生
- (5) 5S 活動を推進します
- (6) 従業員すべてに、環境への取り組みについて周知し、教育訓練に取り組みます
- (7) 所属組合や府中市の環境美化活動に参画します
- (8) 環境経営方針は、環境経営レポートを通じて公表します。

制定日 2023年6月6日

株式会社府中技研

代表取締役 波多野和明

#### 4. 環境経営目標

□ 下表に、環境経営目標項目とその取組内容を示す。

環境経営目標項目	単位	取組内容	基準値	2023 年度	2024 年度	2025 年度
CO2 排出量	kg-CO2	各環境経営目標項目の取組み内容を実際に遂行する	25,000 数値把握管理	25,000 数値把握管理	25,000 数値把握管理	25,000 数値把握管理
ガソリン燃費 ハイエース/ワゴン R (排出係数：2.32/kg-CO2/L)	Km/ℓ	・法廷速度厳守 ・アイドリングストップ励行 ・タイヤ空気圧の適正化 ・収集運搬経路の適正化	目標値：燃費管理 (カタログ値の 70%) ワゴン R:22.0(カタログ値) ハイエース:10.7(カタログ値)	・ワゴン R：15.4 ・ハイエース：7.5 同左	・ワゴン R：15.4 ・ハイエース：7.5 同左	・ワゴン R：15.4 ・ハイエース：7.5 同左
電力使用量 (排出係数：0.500/kg-CO2/kWh)	kWh	・昼間休憩時間消灯 ・個々の PC の省エネモード設定 ・空調温度の適正化	40,000 数値把握管理	40,000 数値把握管理	40,000 数値把握管理	40,000 数値把握管理
廃棄物排出量	kg	■ 事業系一般廃棄物 ・分別排出の励行/再資源化推進	数値目標なし (数値把握管理)	数値目標なし (数値把握管理)	数値目標なし (数値把握管理)	数値目標なし (数値把握管理)
		■ 産業廃棄物 ・分別排出の励行/再資源化推進	数値目標なし (数値把握管理)	数値目標なし (数値把握管理)	数値目標なし (数値把握管理)	数値目標なし (数値把握管理)
環境保全	---	・環境法令準拠やサービスにおいて環境にやさしい製品設計を行う	実績	実績	実績	実績
水使用量の削減	m3	・節水活動の励行：数値把握管理	225	225	225	225
技術の継承・発展	---	・“成果・技術発表会”を開催し、個々の成果や新技術の共有化で技術継承とスキルアップを図る	継続	継続	継続	継続
職場環境の整備と創生	---	・職場環境の改善・創生に努める/5S 活動（就業時に整理・整頓・安全確認）	継続	継続	継続	継続

・基準値は、2019 年度の値を基準として設定。 ・ガソリン以外の目標値は、意識づけの“数値把握”管理とする。 ・ガソリンは使用量から“燃費”実績把握とする。

・化学物質使用量については少量のため、適正管理とする。

## 5. 環境経営計画

- 環境経営目標値は、環境経営目標に掲げる目標値とする。
- 化学物質の使用量については、ごく少量のため、目標設定には含めない。

環境経営目標項目	環境経営目標項目	単位	取組内容	担当部門
CO2 排出量削減	CO2 排出量	kg-CO2	各環境経営目標項目の取組み内容を確実に遂行する	全社
	ガソリン燃費管理 (排出係数：2.32/kg-CO2/L)	Km/ℓ	・法廷速度厳守 ・アイドリングストップ励行 ・タイヤ空気圧の適正化 ・収集運搬経路の適正化	全社
	電力使用量 (排出係数：0.500/kg-CO2/kWh)	kWh	・昼間休憩時間消灯 ・個々の PC の省エネモード設定 ・空調温度の適正化	全社
廃棄物排出量	事業系一般廃棄物	kg	・分別排出の励行／再資源化推進	全社
	産業廃棄物			
環境保全	環境法令準拠	---	・環境法令等に準拠したものづくり ・所属組合や府中市の環境美化活動に参画	全社
水使用量	水使用量及び総排出量	m <sup>3</sup>	・基準年度維持 ・節水活動の励行 ・配管漏れのチェック	全社
事業活動	技術の継承・発展	---	・“成果・技術発表会”を開催し、個々の成果や新技術の共有化で技術継承とスキルアップを図る	全社
職場環境	職場環境の整備と創生	---	・常に職場環境の改善・創生に努める／5S 活動（就業時に整理・整頓・安全確認）	全社

・化学物質使用量については少量のため、適正管理とする。

## 6. 環境経営計画に基づき実施した取り組み内容

### (1) 環境経営目標の実績

#### 教育・訓練実績表

日付	時～時	教育訓練名	講師・指導者	教育・訓練の内容	受講者	実施責任者
四半期毎	四半期ごとの朝礼	一般教育	乙津	四半期ごとの実績の公表と啓蒙	全社員	乙津
2023年 12月1日	8時40分	火災・地震避難訓練	乙津	避難訓練の実施	全社員	乙津

### (2) 従業員への周知徹底と環境経営取組教育

#### □ 火災・地震避難訓練（2023年12月1日8時40分）

火災を想定し、1階、2階および3階から適宜建屋外に避難し、点呼をとり人数を把握したのち、解散とした。



建屋後方避難  
・点呼風景



## 7-1. 環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組結果とその評価

### □ 活動計画の実績と評価

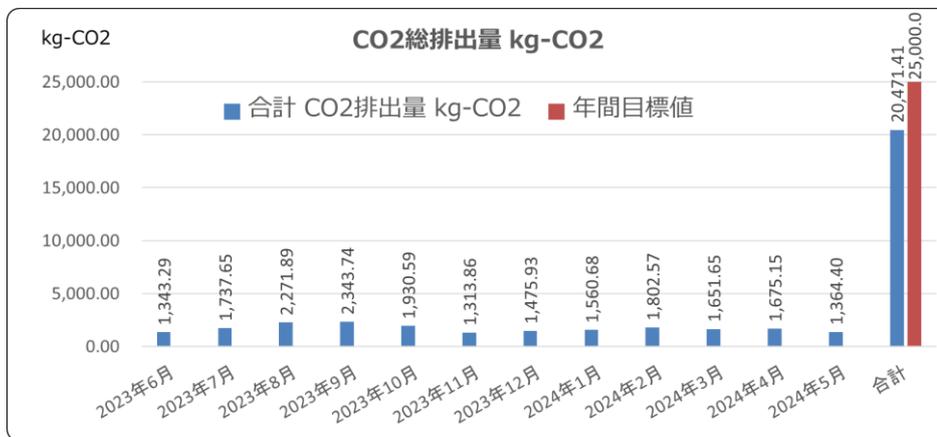
環境経営目標項目	単位	取組内容	2023 年度目標	2023 年度実績	確認	評価コメント/ 是正処置
CO2 排出量	kg-CO2	各環境経営目標項目の取組み内容を確実に遂行する	25,000 数値目標なし（数値把握管理）	20,807 数値目標なし（数値把握管理）	○	
ガソリン使用量 (燃費管理) (排出係数：2.32/kg-CO2/L)	Km/l	・法廷速度厳守 ・アイドリングストップ励行 ・タイヤ空気圧の適正化 ・収集運搬の小型車利用優先	目標値：カタログ値の 70% ワゴン R:15.4 ハイエース:7.5	目標値：カタログ値の 70% ワゴン R：14.79（96%） ハイエース：9.57（127.8%）	○ ×	ワゴン R は近距離業務運行増加による燃費悪化
電力使用量 (排出係数：0.500/kg-CO2/kWh)	kWh	・昼休みの消灯 ・空調温度の適正化 ・エアコンフィルターの清掃	40,000.0 数値目標なし（数値把握管理）	36,439 数値目標なし（数値把握管理）	○	
廃棄物排出量	kg	事業系一般廃棄物 ・分別排出の励行／再資源化推進	数値目標なし	数値目標なし	○	
		産業廃棄物 ・分別排出の励行／再資源化推進	数値目標なし（数値把握管理）	実績：115.75 数値目標なし（数値把握管理）	○	
環境保全	---	省資源化設計を目指す	府中テクノリエーター共同組合管理の緑地の整備	府中テクノリエーター共同組合管理の緑地の整備	○	
水使用量	m3	・節水活動の励行	225 数値目標なし（数値把握管理）	142 数値目標なし（数値把握管理）	○	
技術の継承・発展	---	・“成果・技術発表会”を開催し、個々の成果や新技術の共有化で技術継承とスキルアップを図る	毎年一回“成果・技術発表会”を開催	令和 5 年 6 月 30 日発表会実施 7 人、7 テーマ発表	○	
職場環境の整備と創生	---	・常に職場環境の改善・創生に努める／5S 活動	常に就業時に整理・整頓・安全確認	毎終業時の点検及び昼礼で促す	○	

## 実績データ

- CO2 総排出量
- 電力使用量
- ガソリン使用量
- 一般廃棄物排出量
- 水使用量
- 技術の継承・発展
- 環境保全

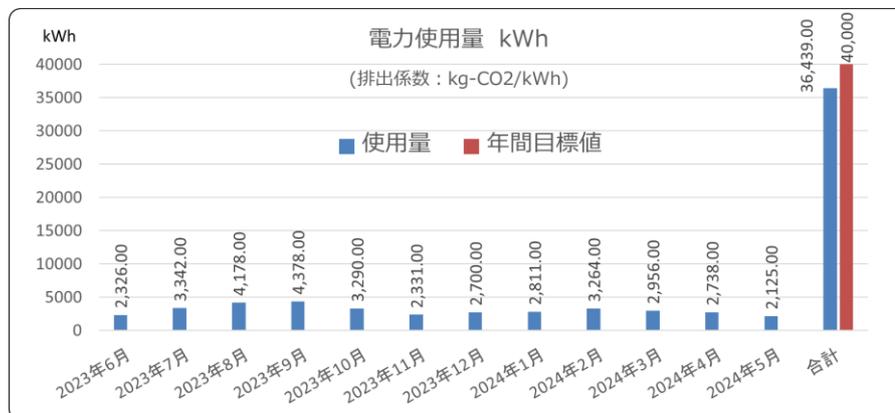
### □ CO2 総排出量 78.6%

- 基準値 : 25,000 kg-CO2
- 実績 : 20,471kg-CO2 ・目標達成



### □ 電力使用量 91.1 % (排出係数 : 0.500/kg-CO2/kWh)

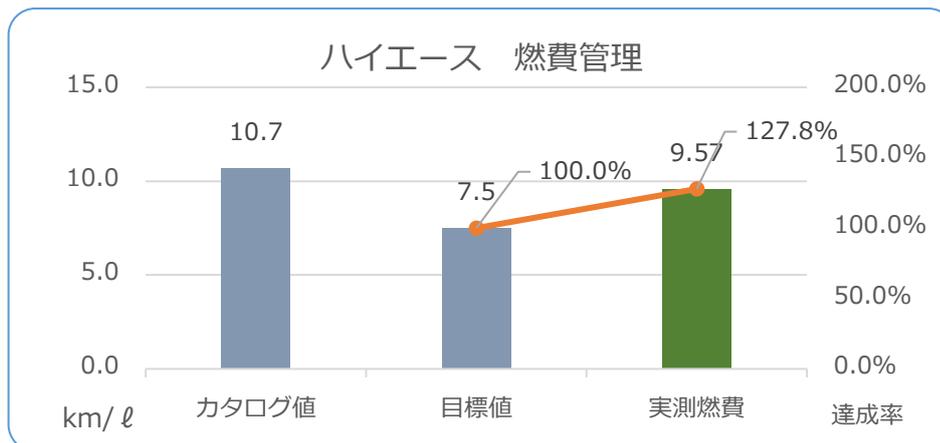
- 基準値 : 40,000 kWh
- 実績 : 36,439kWh



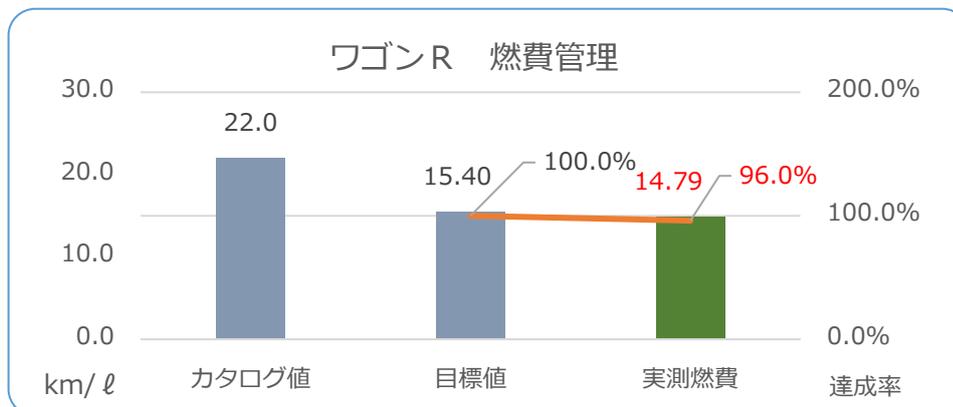
### □ ガソリン使用量

- 数値目標なし（数値把握管理）（排出係数：2.32/kg-CO<sub>2</sub>/L）

- ハイエース：127.8% 達成
  - ✓ 目標 7.5km/ℓ（カタログ値の 70%）
  - ✓ 実績 9.57km/ℓ（カタログ値比較達成率：127.8%）
  - ✓ ガソリン使用量：619.67 ℓ／年
  - ✓ 走行距離：5,933 Km／年

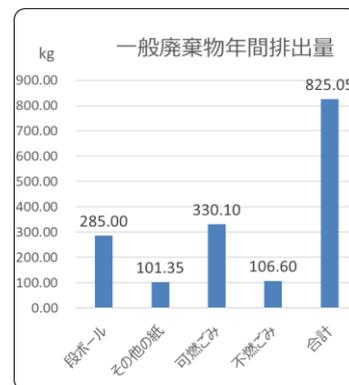
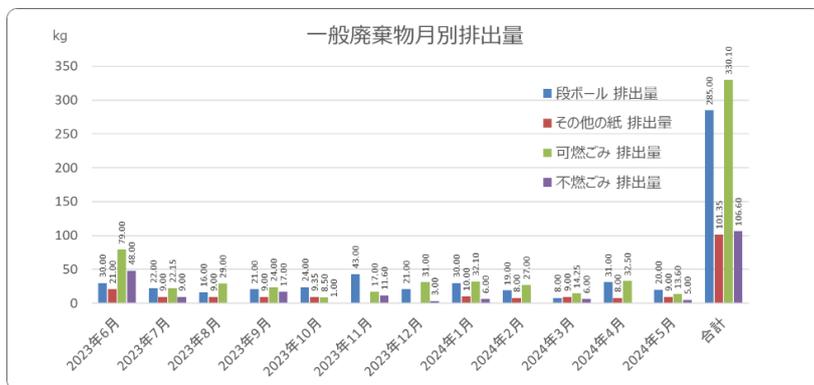


- ワゴン R：96.0% 未達成
  - ✓ 目標：15.40km（カタログ値の 70%）
  - ✓ 実績：14.79km/ℓ（カタログ値比較達成率：96.0%）
  - ✓ ガソリン使用量：350.98 ℓ／年
  - ✓ 走行距離：5,191 Km／年



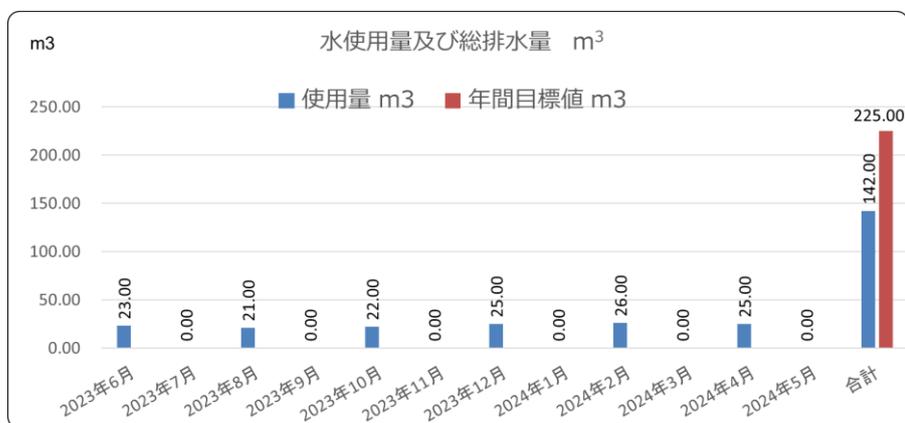
□ 一般廃棄物排出量

- 実績合計：825.05Kg
- 段ボール／その他の紙／可燃ごみ／不燃ごみ 月別／年間排出量



□ 水使用量及び総排水量 63.0%

- 基準値：225.0 m<sup>3</sup>
- 実績：142m<sup>3</sup>
- 基準値／実績：63.0%
- ✓ 節水活動の励行により削減。



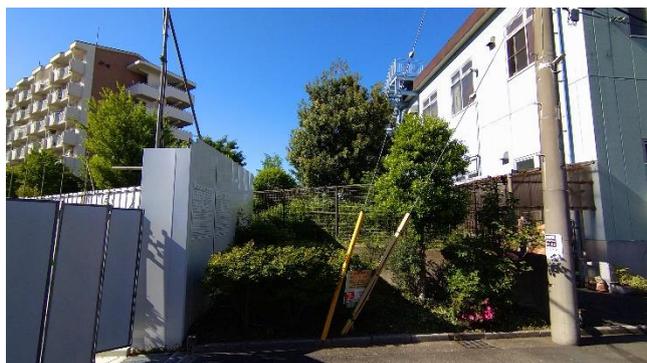
□ 技術の継承・発展

- 成果・技術発表会 於：2023年6月30日
- 7名、7テーマ発表



□ 環境保全

- 府中テクノクリエイター協同組合の緑地整備  
4社協同組合：(株)府中技研、北興電機(株)、(株)会田プリント製作所、(株)東海興業



## 7-2. 次年度基本環境経営計画

人員増加や仕事量等会社環境の変化に伴い、環境負荷に変動がある場合、実施可能な範囲で適切に設定・管理します。

目標環境項目	目標項目	達成手段・取組	担当者	次年度取組内容
二酸化炭素排出量	CO2総排出量[kg]	各取組みの実行	全員	継続
	ガソリン 燃費管理 社有車2台 1.ハイエース 2.ワゴンR(軽)	<ul style="list-style-type: none"> <li>社用車の燃費向上</li> <li>法廷速度厳守</li> <li>アイドリングストップ励行</li> <li>輸送効率の向上</li> </ul>	営業	継続
	電気使用量[Kw/h]	職場単位で不要照明の消灯	全員	継続
水使用量	上水[m <sup>3</sup> ]	<ul style="list-style-type: none"> <li>節水の意識向上</li> <li>水漏れの点検</li> </ul>	全員	継続
廃棄物排出量	一般廃棄物[kg]	分別排出の励行／再資源化推進	全員	継続
	産業廃棄物[Kg]	分別排出の励行／再資源化推進	全員	継続
環境保全	所属組合や府中市の環境美化活動に参画	テクノクリエイター協同組合の緑地整備	経営	継続
事業活動	技術の継承・発展	毎年一回“成果・技術発表会”を開催し、個々の成果や新技術の共有化で技術継承とスキルアップを図る	全員	継続
職場環境	職場環境の整備と創生や地域の環境整備に努める 5S活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>職場環境の改善・創生に努める</li> <li>就業時に整理・整頓・安全確認</li> </ul> 5S活動を促す	全社	継続

## 8. 環境関連法規制等の順守状況の確認及び評価の結果、違反訴訟などの有無

- 当事業所に適用される環境関連法規とその遵守状況の確認結果、違反はありません。（法規制一覧表 E103-01 参照）
- その他関係各機関からの指導や隣接する事業所及び近隣住民の方々からの苦情もありません。

（法規制一覧表 E103-01） 登録更新：2023年06月8日 チェック実施日：2024年05月17日

法規制等の名称	該当する要求事項	法令条項	遵守基準等	該当部門	遵守責任者	順守評価欄
消防法	危険物指定量未満の取扱い。	東京都火災予防条例第 30 条	令で定める技術上の基準遵守	管理部門	乙津	2024年05月17日 ○
	消防の用に供する機械器具等の検定等	令第二条の二	定期点検実施と記録の保存 消火器、警報機等（外部資格保有業者に委託・点検）	管理部門	乙津	2024年05月17日 ○
廃棄物処理法	廃棄物排出者が収集・運搬及び処分を委託する場合の要件。家電・小型家電適応品も含む	法第六条の二の四	廃棄物の収集・運搬資格保有に委託 処分の場合も資格保有業者に委託	管理部門	乙津	2024年05月17日 ○
	特別管理産業廃棄物の運搬又は処分の委託 (感染性廃棄物) 知事への報告	第二条第四項第二号第五項 12条の3(マニフェスト・管理票) 12条3の7	特別管理産業廃棄物の運搬資格保有者に委託(許可証確認) 特別管理産業廃棄物の処分資格保有に委託(許可証確認) 保管基準(表示板) マニフェスト(管理票)(12条3)			
	特管産廃管理責任者の設置	法12条2項7,8項	特別管理産業廃棄物の処理の状況に関する確認を行い、廃棄物発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の行程における処理が適正に行われているか管理する。			2024年05月17日 ○ 江森晃太: 継続
自動車 NOx、PM 法	NOx、PM の排出規制 (車種毎の基準)	都道府県条例	車検証で排出基準への適否を確認 東京都	管理部門	乙津	2024年05月17日 ○

## 9. 全体の評価と見直し

### □ 代表者による全体の評価と見直し・指示

対象期間 2023年6月～2024年5月

2024年6月6日

	項目	評価結果	指示・補足等
1	環境経営方針	見直し変更なし	現状維持とする
2	環境経営目標および環境経営計画	一般廃棄物を除く各数値目標は達成した。	現状維持とする。 ★ガソリン燃費以外の数値目標は、意識づけ数値把握管理を継続。
3	経営における課題とチャンスの明確化	仕事内容・仕事量に応じた職場環境整備を実施した。	1、2、3 階および屋上の再整理・整頓と職場レイアウトを大幅に改変した。それに伴う大量の雑廃棄物が発生した。
4	実施体制	見直し変更なし	現状を維持する
5	その他 ・法令順守評価 ・外部からの苦情・要望	遵守事項を一覧表で特に順守違反はないこと確認した。	現状を維持する
		利害関係者からの苦情・要望はありません	現状を維持する
6	総括： <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 10 余年に亘る環境経営システム活動で社員全員の意識は根付いている。</li> <li>➢ 環境経営目標に掲げた数値目標を継続的に改善出来ているので、今後も社員全員が理解して取り組む。</li> <li>➢ 永年の活動で改善量は飽和に達成していることや、ビジネスの増減に連動して数値が変動するので、今後は数値把握管理とする。</li> </ul>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 電力消費、ガソリン消費、一般廃棄物、上水量削減およびその他の活動は、エコアクション 21 の過去 10 余年に亘る活動で根付いている。</li> <li>➢ 数値改善項目は永年の活動で改善量が飽和していることや、ビジネスの増減に連動して数値が変動するので数値把握管理とする。</li> <li>➢ 今後は製造メーカーとして主に産業廃棄物の数値把握管理を行う。</li> <li>➢ 引き続き、環境経営方針、環境目標の周知を進め、従業員全員参加の下、環境意識のさらなる向上を図り、結果に繋がる活動を実施のこと。</li> </ul>		